

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年10月24日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年10月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【増設多核種除去設備共沈タンク(B)のpH計の指示不良について】 協力企業作業員が、増設多核種除去設備共沈タンク(B)のpH計定例点検において、点検対象の3台中1台の検出器に指示不良を確認。 故障箇所を特定するため、他の検出器のケーブルと入れ替え調査を実施したところ、検出器の指示に問題がなかったことから、ケーブルに原因があると推定。 なお、pH計の検出器は3台あり、他2台の健全性は確認が出来るため、pH値の測定に影響はない。 今後、ケーブルの交換を実施する。	GⅢ	10月19日